

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		公共施設等総合管理計画進捗管理事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	060303001010
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営					単独/補助	単独	所属課	020201 財政課
政策体系	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり							課長名	
	施策名	03 時代に合った自治体運営							グループ	管財契約G
	手段名	03 ③効率的な施設配置							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成29年度~)	
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	平成26年4月22日付総財務第74号総務大臣通知、市有財産跡地等利活用審議会設置要綱、同検討委員会設置要綱									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>厳しい財政状況が続く中で、今後人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を行う。</p> <p>令和元・2年度において、各施設の現地調査を行い「桜川市公共施設個別施設計画」を策定した。令和3年1月に「令和3年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項」が示されたことに伴い、令和3年度に公共施設個別施設計画をはじめ、各長寿命化計画などを反映した形で、公共施設等総合管理計画の改訂した。令和4年7月に国の指針に基づき、脱炭素の指針を追加し、改定した。</p>	<p>各施設の担当課において、施設の使用状況やコストを公共施設マネジメントシステムに入力し、データ分析を行い更新、統廃合、長寿命化を検討する。</p> <p>新公会計システム(固定資産管理)に係る説明会の開催、データ修正業務</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
公共施設の使用状況やコストの把握 未利用財産の把握	跡地等利活用審議会・検討委員会の開催	回	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	施設使用状況・コストの集計	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	計画の進捗管理	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	公共施設マネジメントシステム操作説明会	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市内の公共施設	公共施設数	件	137.00	134.00	135.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
公共施設老朽化に伴う財政負担の軽減と平準化を行う。	公共施設等の統廃合・廃止・譲渡等	件	1.00	4.00	1.00	0.00	0.00
	跡地利活用施設の数	件	5.00	5.00	7.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	2,891	2,891	6,948		
	事業費計 (A)	千円	2,891	2,891	6,948				
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	13 使用料及び賃借料	2,891		01 報酬	522	
				10 需用費	2,534	
				13 使用料及び賃借料	2,892	
				14 工事請負費	1,000	
				合計	6,948	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	①公共施設の利用状況をシステムに入力 ②施設の廃止等情報のシステム反映と計画の進捗状況を把握 ③施設の統廃合を検討する部署に施設の利用状況を提供し、統廃合の参考資料と する	①公共施設の利用状況をシステムに入力 ②施設の廃止等情報のシステム反映と計画の進捗状況を把握 ③施設の統廃合を検討する部署に施設の利用状況を提供し、統廃合の参考資料と する	①公共施設の利用状況をシステムに入力 ②施設の廃止等情報のシステム反映と計画の進捗状況を把握 ③施設の統廃合を検討する部署に施設の利用状況を提供し、統廃合の参考資料と する

9 9 ④施設修繕の実施	9 9 ④計画改訂検討	9 9 ④計画改訂検討			
事務事業名	公共施設等総合管理計画進捗管理事業	事務事業No.	60303001010	所属課	財政課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成26年4月総務省から、各自治体において「公共施設管理計画」を策定し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するよう要請があった。また、「公共施設総合管理計画」を着実に遂行するため、令和2年度に「公共施設個別施設計画」を策定した。令和3年度に公共施設等総合管理計画の改訂を行った。令和4年度に国の指針に基づき、脱炭素の化の方針を追加した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 不要な施設の跡地利用推進について要望があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 健全な財政運営の推進として結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市有財産のため市が行う事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 施設の利用状況と施設の劣化度を把握しながら統廃合を進めている。計画策定時と状況が変わり計画の進捗が達成できないことも考えられるが、状況に応じて計画の改定等を実施していく。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 計画が滞ってしまうため廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現時点において、最低限の事業費で執行している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 跡地利用については、公平公正を担保するため跡地利用等審議会において審議をする。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	公共施設マネジメントシステムのバージョンアップがあり、担当部署に入力方法を説明しなければならなかったが、令和4年度中にはできなかつたため、令和5年度に実施した。令和6年度は施設管理を実施している部署の担当者を対象とした説明会を実施し、各施設の情報更新を行った。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>